

新年が始まりました。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。冬休みは、いかがでしたでしょうか。他の長期の休みとは違った年末年始の過ごし方も多々あって、子どもにとっては、わくわくする日々だったのではないのでしょうか。

一年の計は元旦にありと言われますが、日々忙しく毎日を精一杯暮らしている中で、立ち止まって考えるにはいい機会なのかもしれません。どうせ三日坊主になるし、いらぬかと思ってしまうがちですが、三日でもやれば、ゼロではなく三日分自分にいいことをしたと考えればいいという言葉聞き、気持ちが楽になり、やらないよりやれば意味がある！！と楽観的になりました。

さて、幼稚園は三学期を迎え、集大成の時期に入ります。そして、進級・就学に向けての移行期にもなります。

今年力を入れてきたことが、子どもたちのこれまでに見たことのない姿となって表われていることを職員で話し合ったところです。

- ・小さな変化にも敏感に気づき、何だろうと聞いたり見たり触れたり考えたり調べたりする子どもが増えたこと
- ・通りがかりの大人に自分の話や体験、知ったこと、見たこと、みつけたことを話したがる、伝えたがる子どもが増えたこと
- ・他学級の楽しいことを見つけるアンテナが高くなり、他学級の敷居が低くなり、どこでも行って遊ぶ子どもが増えたこと
- ・年長者が年少者を気遣う姿が増えたことなど。

一年の反省を待たず計画を変更してきたことがあります。毎月実施の避難訓練です。園庭に避難し想定や時間を変えての内容でしたが、裏から出てお山の公園に、裏と正門から赤広場に避難することなどを加えて実施しました。実施した後の反省を踏まえ次はこうしてみようと検討して進めています。誘導の際に起こりうる様々なことがイメージできるようになり適切な職員の連携や役割分担にも役立つようになりました。

進級・就学に向けて、改めて難しいことを子どもたちの課題にするのではなく、今の日々の過ごし方を振り返り、自分のことを自分で自信をもってできることや、少しハードルの高さを感じることもやってみれば「できた！」と思えることをひとつでも増やしていきたいと考えます。

二月の展覧会のテーマは

『わくわくせかいにだいへんしん！』です。

幼稚園をわくわくの世界に子どもたちの作品で変身させます。

小さな経験も大きな自信になるように願っています。

